

つながり合いみんなが輝く「筑北太陽学園」

～主体性と社会性を育み、すべての子どもが学び合うアサーティブな学校・地域づくり～

筑北村教育委員会

「太陽」

子ども(人間)一人ひとりが輝く太陽でありたいことの象徴

- ①自らが輝きを発するとともに、他を照らし多くの恵みをもたらす
- ②「ありたい・したい・しよう」(以下「たいよう」)という、一人ひとりの主体性が大切にされる
- ③教師(大人)が「ねばならない・べきである」(以下「ねばべき」)を押しつける北風ではなく、自身も輝きながら子どもの「たいよう」を育てる

「筑北太陽学園」

保・小・中の12年間+社会教育を含め、生涯にわたり一貫した方針と連携のもと、村全体が共に学び合う学園

「アサーティブ」

一般的には、自分も相手も尊重するコミュニケーションスキルをさすが、ここでは、相互尊重を伴う主体的な態度・考え方

「つながり」

意味や価値を生み出す関係性、広くは「ひと・もの・こと」との関係性を指すが、特に「ひと」とのつながりを大切に



基本となる考え方

(1) 一人ひとりの尊厳の尊重

- お互いの存在そのものを尊重する
- ・優劣、他者との比較ではなく、存在そのものを尊重

(2) 子ども主体・中心の教育

- 子どもの主体性が発揮される子ども中心の教育
- ・主体性を発揮する(思考・判断・表現する)のは子ども。子どもの視点を大切にする

(3) 主体性と社会性の両輪

- 主体性と社会性の両面を学び伸長させる
- ・自分にとって「よい」とみんなにとって「よい」を同時に考え主体的に行動できるアサーティブな人間の育成

目指す教育

(1) 主体性(たいよう)と社会性(つながり)の同時追求

- ・自分の「たいよう」を追究し、わからないことを聴き合い、多様な他者との対話により学びを深める
- ・他者の支えにより自分の「たいよう」が実現に向かい、他者と分かち合う
- ・「つながり」と「たいよう」を同時追求することで互いを強め合う好循環を生み出す
- ・同時追求により、独善的な「たいよう」や個を抑圧する「つながり」に陥らない真の自律をめざす

(2) 「つながり」を深め「つながる力」を育む

- ・教育活動を全面的に見直し、子どもたちの「つながり」を豊かにする学びに変革
- ・相互尊重やアサーティブなコミュニケーション等の「つながる力」を育む教育課程
- ・「つながり」を育むことで、多様性を包摂し、全ての子どもが学び合えるインクルーシブな学校へ

(3) 保・小・中+社会教育で村全体を「アサーティブな学園」に

- ・保・小・中さらに社会教育と、生涯にわたり一貫した方針と連携により推進
- ・お互いに顔の見える関係のなかで、支え合うあたたかな地域の力を活かす
- ・子どもの「たいよう」を支援することは、大人達が、社会性・主体性を学び合うアサーティブな地域づくりにつながる

筑北太陽学園 が目指す学校

お互いを尊重し合う「つながり」のなかで、全ての子どもが安心して
自分を発揮し、一人ひとりの「たいよう」が大切にされ、すべての
子どもが学び合い成長し合うアサーティブな学校



柱1 たいよう（主体性）を育む学校（「ねばべき」から「たいよう」へ）

- 学び合い**…子どもの「たいよう」が発揮される授業（下掲）
- ちくほく太陽タイム**…「はてな・ワクワク・ドキドキ」が大切にされ「たいよう」の実現向かう探究の時間
- 子どもと共につくる行事**…「たいよう」を具現する子どもの提案でつくる行事（例：運動会・音楽会・筑北マルシェ等）
- 筑北太陽議会**…子どもの学び、アイデアが地域をつくる
- 筑北太陽コミュニティ・スクール**…子どもの「たいよう」を支援するとともに、大人が子どもから学ぶ

柱2 つながり（社会性）を育む学校（つながりを深めつなげる力を学ぶ）

- 学び合い**…つながりを深めながら学び合う授業（下掲）
- 多様な他者と学び合う**…全校道徳、異学年合同教科学習、縦割り総合、保小・小中・学社合同の学び
- 子どもと共につくる行事**…つながり合いを育む行事・活動
- つながる力を育むSEL**…アサーティブなコミュニケーション、対人関係ゲーム、チームビルディング、グループワーキング等（元松本大学岸田幸弘先生他）
- ※SEL…Social Emotional Learning（社会性と情動の学習）、自己認識、自己管理、社会認識、関係構築、責任ある意思決定等社会性や情動（感情）に関する能力を育むアプローチ

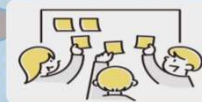
柱3 インクルーシブな特別支援教育（特別支援教育の変革・村教育支援センター構想）

- 村教育支援センター**…センターを核に、保育園・学校・専門家（信州大学楠見友輔先生等）との協同で、個別指導や取り出しという従来の孤立に向かう支援から、他の子どもとのつながりに向かう新たな特別支援教育に変革
- 多層型支援システムの構築**…多様なニーズを持つ子ども一人ひとりに応じた支援を段階的に提供する体制づくり
- 特別支援教育業務の改善**…LITALICO等特別教育支援教育業務を支援するソフト・ICTの導入・活用支援
- 多様な学びの場**…中間教室、校内教育支援センター、地域のNPOや外部機関との連携・協同、ICTの活用

柱4 保・小・中+社会教育の一貫・連携で（子どもを中心に大人が学び合う地域作り）

- 筑北太陽コミュニティ・スクール**…子どもの「たいよう」を支援することで大人達が学び合う・子どもの学びを地域に開放し大人が共に学ぶ
- 筑北太陽アカデミー**…地域の大人や専門家が子どもの「はてな・わくわく・ドキドキ」を喚起し子どもと共に探究
- 太陽ルーム**…校内に園児・地域の方・教室に行きづらい子ども達等が自由に集い交流できる場
- アサーティブを育む生涯学習講座**…子どもと共にアサーティブなコミュニケーション等を学ぶ生涯学習講座、地域・世代を超えつながり合うスポーツ・文化活動

学び合い（一斉教授から探究・協同・創造の学びへ）



子どもの「つながり」と「たいよう」を育む「学び合い」への改革が学校づくりの中核

（学びの改革研修会、保小中職員合同の学びの改革研修会 外部講師：信州大学楠見友輔先生、東海国語教育を学ぶ会 石井順治先生 他）

① 協同

違いや特性を活かし合い、一人ひとりの「たいよう」を追究する学びへ

- 自分にとってもみんなにとっても「よい」を求める、相互尊重・互恵的な学び
- 4人グループ等協同の場でわからないと言える聴き合う関係を基盤に
- 多様な他者との対話による深い学び
- 他者との協同が「たいよう」を実現し成長させてくれる学び

② 探究

思考・判断・表現を子どもに委ね、自分の問いや願いを追究する学びへ

- 身体・五感を通した体験的な活動から問いや願い「たいよう」が生まれる学び
- 「たいよう」の契機となる課題・動機付け・提案
- 生活・総合、さらに日々の教科の授業を探究的な学びに
- 子どもの「たいよう」を大切にし、地域・行政が連携・協同して応援（「筑北太陽アカデミー」との連携・発展等）

③ 創造

よりよいものを求め挑戦し、他者と共に創造し、分かち合う学びへ

- 本物・一流に触れ、憧れを持つ学び
- 一人ではできない難しい課題にみんなで挑戦していく学び
- 他者と共に真・善・美・聖を創造し分かち合う学び

<想定される壁とその対応>

- つながりとたいようを生み出すゆとり・余白の創出
- 教師・大人の考え方の変革から
 - ・教える教師からつなげる教師へ
 - ・子ども主体・中心の教育を学ぶ社会教育講座

<県の伴走支援に求めること>

- 推進コーディネーター**（教育委員会教育支援室へ配置）
- 学校園・こども家庭センター・教育支援センター・地域住民等との対話・情報共有・連携
- 幼児教育・学校教育+社会教育の一貫・連携した「つながり」「たいよう」を育む教育プログラムの策定

<学校公開・保護者、地域との連携方法>

- 全校級公開を原則とした公開研究会の開催
- 学校運営協議会、地域保育園学校協働本部、保護者、地域の学校支援団体（漢塾等）、地域のNPO 団体（シャインカレッジ等）と連携・協同
- 教育課程特認校制度活用の検討

筑北村教育委員会・筑北小学校・聖南中学校・坂井保育園・筑北ひまわり保育園
提案者 筑北村教育委員会
教育長 内川雅信 教育次長 細田雅義
TEL:0263-67-1161
Mail: kyouiku@vill.chikuhoku.lg.jp